

## 【特定資格保有者用】

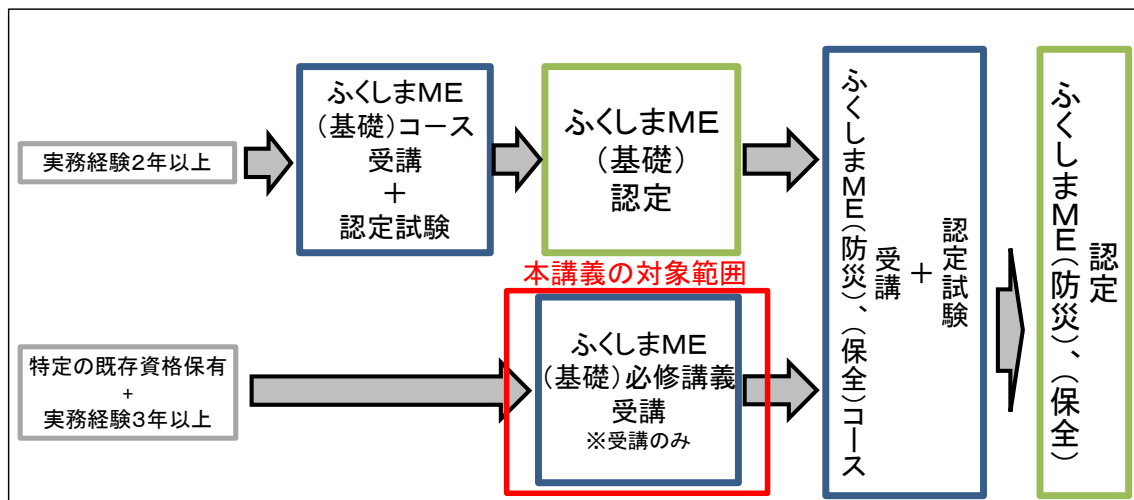
## M E 育 成 講 座

平成30年度 第1回「ふくしまME（基礎）必修講義」  
募 集 要 項（案）

## ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会

- ・ 申請書受付期間：平成30年4月2日（月）～平成30年4月19日（木）
- ・ 受講者選抜結果通知発送：平成30年5月7日（月）
- ・ 受講料払込期間：平成30年5月8日（火）～平成30年5月16日（水）  
（期日厳守）
- ・ 実施場所：日本大学工学部62号館6232教室（郡山市田村町）
- ・ 必修講義：平成30年6月2日（土）9:55～17:20

- 本講義は、特定の既存資格を保有し、かつ3年以上の実務経験を有している者が受講できる講義であり、別途募集している平成30年度第1回「ふくしまME（基礎）コース」の1週目と同時に行います。
- 本講義を受講修了した者は、「ふくしまME（基礎）」は認定されませんが、「ふくしまME（防災）コース」及び「ふくしまME（保全）コース」を受講する資格を得ることができます。ただし、受講を保証するものではありません。



※本講義の受講要件を満たす者でも、「ふくしまME（基礎）コース」を受講することは可能です。

## ME 育成講座の目的と意義

社会インフラは、豊かな国民生活の実現及び自立的で個性豊かな地域社会の形成等に寄与する国民共通の貴重な財産であります。

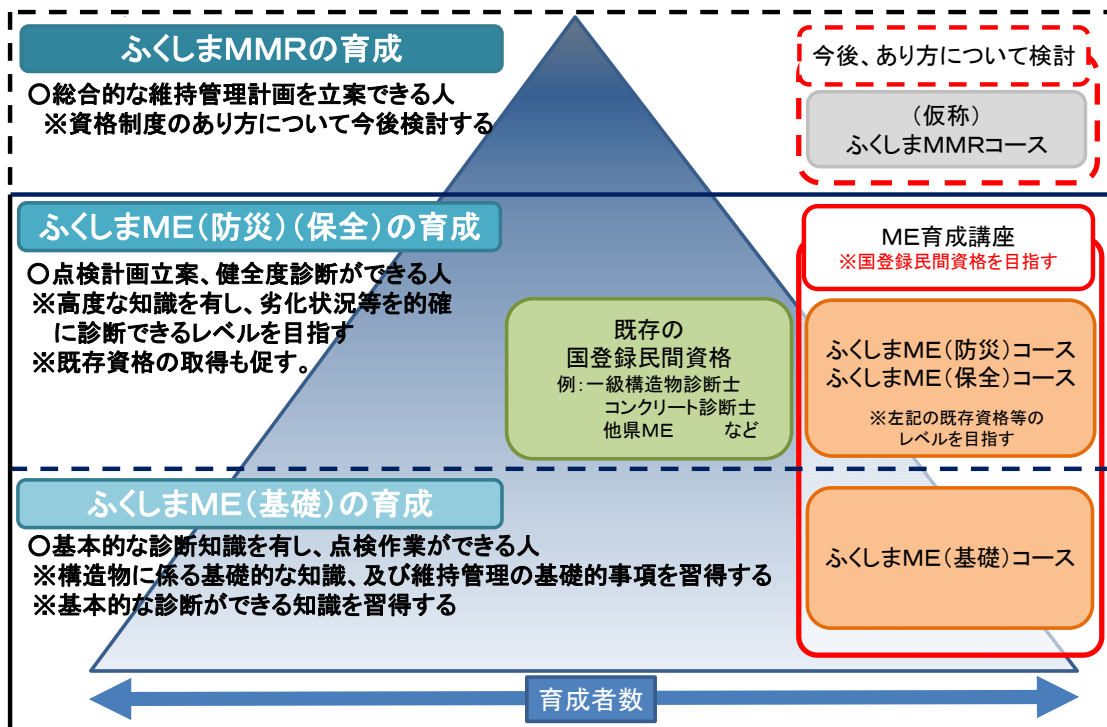
これら社会インフラは、高度経済成長期に集中的に整備されたため、今後急速に老朽化が進むことから、その維持・修繕、更新の必要性、緊急性が全国的に課題となっております。

他方、本格的な社会インフラの維持管理・更新時代を迎える中、維持・修繕分野においては、行政を始め、地域の建設業やコンサルタントに携わるメンテナンス技術者の人材不足が深刻な問題となっております。

このような中、平成 29 年 1 月 12 日「福島県建設業審議会」の答申において、「インフラメンテナンス技術者育成・確保に関する産学官による連携強化」について明記され、インフラメンテナンス技術者育成に積極的に取り組む必要があることが報告されました。

このため、本協議会では、「地域のインフラは、地域自らが守る」考えの下、福島県の地域特性を把握するとともに、橋梁、トンネル、舗装、斜面、河川構造物、防災施設等、社会インフラ全般に係る各種点検やメンテナンスに関する専門的かつ実践的な知識を有し、社会インフラマネジメントの中核となる技術者を安定的に育成することを目的として、図-1 に示すように、育成目標レベルに合わせて「ふくしまME（基礎）コース」、「ふくしまME（防災）コース、ふくしまME（保全）コース」、「(仮称) ふくしまMMRコース」を実施します。

基礎から応用にわたり多くの技術者の育成に取り組むことにより、社会インフラの品質確保に努め、県民の安全・安心に貢献していくこととしております。



※1:「メンテナンス・エキスパート」構造物等の維持管理に関する高度な知識を持ち、劣化状態等を的確に診断し対処できる技術者を意味する。  
 ※2:「メンテナンス・マネージャー」構造物等の維持・修繕に関する日常的管理や、保全計画の策定等ができる技術者を意味する。

図-1 各コースと育成目標レベル

## ME 育成講座「ふくしまME（基礎）必修講義」の概要及び実施スケジュール

本講義は、特定の既存資格を有する者が、「ふくしまME（基礎）」の認定を受けずに「ふくしまME（防災）コース」及び「ふくしまME（保全）コース」（以下、「防災及び保全コース」という。）の受講資格を得るために必要な講義です。

内容は、講義のみの1日間で構成され、「ふくしまME（基礎）コース」と同時に行います。なお、認定試験はありません。

平成30年度第1回の実施スケジュール及び講師等は下記のとおりです。

	研修会場	講義時間	講 義 内 容		講 師
6月 2日(土)  概説、 共通、 保全：構造	6 2号館 6232教室	9:55～10:10	共－1	ME研修の意義、実施要領説明	福島県、事務局
		10:10～11:30	共－2	福島県の社会基盤施設の維持管理概要	福島県
		12:30～14:00	共－3	福島県の地形・地質	(一社)福島県地質調査業協会 小澤義史
		14:10～15:40	保構－1	舗装維持管理の基礎	インフラ長寿命化研究会 村岡克明
		15:50～17:20	保構－2	トンネル維持管理の基礎	(一社)建設コンサルタンツ協会東北 支部 尾崎裕司

## ME 育成講座「ふくしまME（防災）コース」、「ふくしまME（保全）コース」の概要

「防災及び保全コース」は、公共土木施設に関して点検計画立案、健全度診断ができる技術者「ふくしまME（防災）」及び「ふくしまME（保全）」の育成を図るものです。

「防災及び保全コース」の概要は下記のとおりです。

### 【ふくしまME（防災）コース】

福島県内の地質・地盤、および降雨や地震などの自然環境下で、道路構造物のうち斜面崩壊や落石、雪崩、また盛土の変状による道路への影響を防止、または抑止するための施設（各種シェッドを含む）や盛土下の構造物（カルバートも含む）、地盤変状や塩害などの影響を受けるトンネル構造物を対象とし、それらの健全度の診断と対策に関する技術を習得することを目的とする。

### 【ふくしまME（保全）コース】

福島県内の気象・地象条件に起因する環境作用を想定し、主に道路構造物のうち橋梁を対象として、凍結防止剤や海水による鋼材腐食、アルカリシリカ反応、寒冷地における凍害、交通作用の繰返しによる疲労といった劣化に対するコンクリートおよび鋼構造物、さらには舗装の診断（点検、劣化機構の推定・予測、評価・判定）と対策（補修・補強、更新）に関する技術を習得することを目的とする。

**ME 育成講座 平成30年度 第1回**  
**「ふくしまME（基礎）必修講義」 募集内容**

**1. 募集人員**

若干名

**2. 受講費用等**

受講料 20,000円

（ただし、ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会に参画する団体又は行政機関に属する者は、10,000円とする。）

なお、受講者決定通知後に参加をキャンセルした場合、指定講義の途中で欠席となった場合でも受講料は返還いたしません。

**3. 受講資格**

受講申請者は、下記（1）のいずれかの資格を有するとともに、実務経験については（2）のいずれかに該当する必要があります。

（1）保有資格

「別表1 ふくしまME（基礎）コースの一部科目を免除する既存資格」（P8）に掲げる資格

（2）実務経験

① 官公庁土木技術者等（関係団体の土木関係職員含む）

官公庁の土木技術者等で、社会資本の維持管理業務、または、設計・計画、監督業務を3年以上経験している者。

② 民間建設関連業土木技術者

社会資本の点検・調査、新設・補修・補強に関わる設計・施工管理業務を主体的な立場で3年以上経験している者。

※主体的な立場とは、委託業務は担当技術者、施工管理業務は現場代理人などを指す。

③ 現在の所属機関のみでは上記①及び②の要件を満たしていない土木技術者等

複数の所属機関での実務経歴がある場合は、新旧の所属機関で実施した合計の経験年数を3年以上有する者。

**4. 受講申請手続き**

（1）申請期間

平成30年4月2日（月） ～ 平成30年4月19日（木）（消印有効）

（2）提出方法

ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会事務局まで、必ず「簡易書留」にて、上記の申請期間内に送付すること（4月20日以降の持ち込み、消印は受理

しません)。なお、封筒の表面の左下隅に「ふくしまME（基礎）必修講義申請書類  
在中」と朱書きすること。

### （3）提出書類

#### ① 受講申込書

官公庁土木技術者等、民間建設関連業土木技術者とも、（様式1）に記入。

#### ② 証明写真2枚

申請3ヵ月以内に撮影した顔写真、無帽、正面向きの縦4.5cm、横3.5cmのもの。2枚とも写真裏面に氏名を記入し、うち1枚は上記①の申請書（様式1）に貼付し、もう1枚は糊付けせず申請書にクリップで留めてそのまま提出（ポラロイド、カラーコピー不可）。

#### ③ 実務経歴書

##### ア 官公庁土木技術者等

受講資格を確認するため、（様式2）に記入。

なお、自分より上位の管理職の職名・氏名を記入し、押印したものを提出すること。

##### イ 民間建設関連業土木技術者

受講資格を確認するため、（様式3）に記入。

なお、現所属企業の会社名、代表者名を記入し、代表者印を押印したものを提出すること。

また、受講資格を満たすため現在の所属企業以外での実務経歴も必要な場合には、旧所属企業分についても（様式3）により旧所属の会社名、代表者名を記入し、旧所属の代表者印を押印したものを併せて提出すること。

（注）個人及び事業主の方が、自分で自分の経歴を証明することは出来ません。

第三者（組合や元請け又は同業者等）から、証明を頂いてください。

#### ④ 資格を証する書面

3（1）に掲げる資格を有することを証する書面の写し

### （4）郵送提出先

〒960-8061 福島県福島市五月町4番25号（福島県建設センター6階）

（一社）福島県測量設計業協会内

ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会 事務局

## 5. 受講者の選抜

### （1）選抜方法

受講申請書類に基づき厳正に審査し、受講者を選抜します。

なお、応募者多数の場合は、応募者の所属先、地域性を考慮して、受講者を選抜します。

## (2) 選抜結果の通知

平成30年5月7日付けで、選抜結果の通知書を本人宛に郵送します。

なお、この日より1週間を経過しても選抜結果通知書が届かない場合には、事務局までお問い合わせください。

(注) 選抜結果通知の際、受講料納付方法についてお知らせしますが、指定した期日までに受講料の入金がない場合には、受講できませんのでご注意願います。

## 6. 個人情報の取扱い

提出された申込書等に記載された氏名、生年月日、住所、電話番号等の個人情報は、ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会事務局が責任をもって管理します。

## 7. 受講修了証について

本講義の全課程を受講した者に対し、受講修了証を交付します。

受講修了証の有効期間は、交付日より原則として5年間とします。

なお、レポート課題等の未提出が一部でもあった場合や、遅刻、欠席が一部でもあった場合には、原則として受講修了証は交付されません。

ただし、不可避の理由<sup>(※1)</sup>により遅刻、欠席の場合のみ、次回のME育成講座平成30年度第2回「ふくしまME（基礎）必修講義」において、受講できなかった講義を一度のみ受講料免除の上受講でき、受講することで本講義の全課程を受講したものとして受講修了証を交付します。

※1 不可避の理由：3親等以内の忌引き、不慮の事故などを指します。

## 8. CPDプログラムについて

本講義はCPD（公益社団法人土木学会）、CPDS（一般社団法人全国土木施工管理技士会連合会）プログラムの認定対象予定講習です。

## 9. その他

(1) 平成30年度第2回ME育成講座「ふくしまME（基礎）必修講義」は、平成30年8月中旬頃に開催する予定です。

(2) 「防災及び保全コース」は、平成30年度第2回「ふくしまME（基礎）コース」の認定者決定後に開催する予定です。

なお、受講要件については下記①または②のいずれかを満たす者となり、本講義の受講修了者は②に該当します。

① 「ふくしまME（基礎）」の認定を受け、かつ3年以上の実務経験<sup>(※2)</sup>を有していること。

② 「別表1 ふくしまME（基礎）コースの一部科目を免除する既存資格」（P8）に掲げる資格を保有し、かつ3年以上の実務経験<sup>(※2)</sup>を有しており、さらに、「ふくしまME（基礎）必修講義」の受講修了証の交付を受けていること。

※2 必要な実務経験は、本募集要項の3. 受講資格（2）実務経験（P4）と同一です。

## 10. 問合せ先

〒960-8061 福島県福島市五月町4番25号（福島県建設センター6階）

（一社）福島県測量設計業協会内

ふくしまインフラメンテナンス技術者育成協議会 事務局

TEL：024-563-1321 又は 024-523-1728

URL：<http://www.fukushima-infra-maintenance.jp/>

別表1 ふくしまME(基礎)コースの一部科目を免除する既存資格(案)

	部門、資格名称	実施主体
技術士	建設(全ての専門科目) 応用理学(地質)	文部科学省
国土交通省登録民間資格 ※維持管理分野の診断に登録があるもの	海洋・港湾構造物維持管理士	一般財団法人 沿岸技術研究センター
	都市道路構造物点検技術者	一般財団法人 首都高速道路技術センター
	点検診断士	一般財団法人 阪神高速道路技術センター
	主任点検診断士	一般財団法人 阪神高速道路技術センター
	地すべり防止工事士	一般社団法人 斜面防災対策技術協会
	土木鋼構造診断士	一般社団法人 日本鋼構造協会
	一級構造物診断士	一般社団法人 日本構造物診断技術協会
	河川技術者資格(河川維持管理技術者)	一般財団法人 河川技術者教育振興機構
	河川技術者資格(河川点検士)	一般財団法人 河川技術者教育振興機構
	構造物保全上級技術者	一般社団法人 国際建造物保全技術協会
	舗装診断士	一般社団法人 日本道路建設業協会
	コンクリート構造診断士	公益財団法人 プレストレストコンクリート工学会
	砂防・急傾斜管理技術者	公益社団法人 砂防学会
	コンクリート診断士	公益社団法人 日本コンクリート工学会
	高速道路点検診断士(土木)	公益財団法人 高速道路調査会
	四国社会基盤メンテナンスエキスパート	国立大学法人 愛媛大学
	社会基盤メンテナンスエキスパート	国立大学法人 岐阜大学
	道守コース	国立大学法人 長崎大学
	特定道守コース	国立大学法人 長崎大学
	橋梁診断士	国立大学法人 名古屋大学
社会基盤メンテナンスエキスパート山口	国立大学法人 山口大学	
RCCM ※技術士の建設部門に含まれる科目及び応用理学部門(地質)に該当する部門	河川、砂防及び海岸・海洋	一般社団法人 建設コンサルタンツ協会
	港湾及び空港	
	電力土木	
	道路	
	鉄道	
	都市計画及び地方計画	
	地質	
	土質及び基礎	
	鋼構造及びコンクリート	
	トンネル	
	施工計画、施工設備及び積算	
	建設環境	
	土木学会認定土木技術者	
上級土木技術者		
1級土木技術者		



(様式1)

「ふくしまME(基礎)必修講義」申込書

申込み年月日 平成 年 月 日

フリガナ 氏 名		
	印	
生年月日	昭和・平成 年 月 日(満 歳)	
現 住 所	〒 —	
電 話 番 号	TEL:	携帯:
勤 務 先		
勤 務 先 住 所	〒 —	
	TEL:	FAX:
連絡先 E-Mail		
勤務先の所属 団体名	①福島県建設業協会 ②福島県測量設計業協会 ③福島県地質調査業協会 ④福島県法 面保護協会 ⑤ふくしまインフラ長寿命化研究会 ⑥日本技術士会東北本部福島県支部 ⑦福 島県土木施工管理技士会 ⑧ふくしま市町村支援機構 ⑨県・市町村 ⑩( ) ※該当する番号に○を一か所のみ付すこと。その他の場合は、具体名を記すこと。	
最 終 学 歴	年 月	学 校 ・ 学 部 ・ 学 科
	S・H 年 月	
土 木 に 関 する 職 歴 延べ経験年数 年 ヲ月	年 月	所 属
	S・H 年 月	
	S・H 年 月	
	S・H 年 月	
	S・H 年 月	
	S・H 年 月	
受講を希望する MEコース	①ME防災コース ②ME保全コース ※いずれかに○を付してください	
要項4.(3)④で 証する保有資格	年 月	名 称 (登 録 番 号 等)
	S・H 年 月	
土 木 に 関 係 す る 公 的 資 格	年 月	名 称 (登 録 番 号 等)
	S・H 年 月	
	S・H 年 月	
	S・H 年 月	
	S・H 年 月	
	S・H 年 月	

写真を貼る  
H:4.5cm  
W:3.5cm  
※顔写真  
※裏面に氏名を記入  
し、全面糊付けのこと

(様式2)

「ふくしまME(基礎)必修講義」

— 実務経歴書 —

受講申込者氏名

◆ 土木に関する主要な実務経歴書 (官公庁土木技術者等の経験証明用) ◆

所属	職名 (担当)	関係実務	勤務期間	
			～	年 カ月
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			～	
			※計	年 カ月

上記のとおり相違ないことを証明します。 平成 年 月 日

役職名

氏 名



※勤務期間のうち、重複期間は合計に含みませんのでご注意ください。

(様式3)

「ふくしまME(基礎)必修講義」

— 実務経歴書 —

受講申込者氏名

土木に関する主要な実務経歴書（民間建設関連業土木技術者の経験証明用）

業務名	受注者名	関係実務	発注者名	勤務期間	
				～	年 カ月
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				～	
				※計	年 カ月

上記のとおり相違ないことを証明します。 平成 年 月 日

会社名

代表者名

印

※勤務期間のうち、重複期間は合計に含みませんのでご注意ください。

(様式1)

記入例

ここには何も記入しないこと

「ふくしまME(基礎)必修講義」申込書

申込み年月日 平成 年 月 日

フリガナ	フクシマ タロウ		※姓と名の間は 一字空けること
氏名	福島 太郎	(印)	
生年月日	昭和 平成 ○○年 ◆◆月 △△日(満●●歳)		
現住所	〒000-0000		
	○○市 △町 字 ○○○番地		
電話番号	TEL:000-0000-0000		携帯:090-0000-0000
勤務先	(株)○○○○建設 △部 / 福島県○○建設事務所 △部 等 ※所属部名まで記入のこと。		
勤務先住所	〒000-0000		
	○○市 ◆町 字 ●●●●番地 TEL:000-111-2222 FAX:000-333-4444		
連絡先 E-Mail	※メールアドレスを記入のこと		
勤務先の所属団体名	①福島県建設業協会 ②福島県測量設計業協会 ③福島県地質調査業協会 ④福島県法面保護協会 ⑤ふくしまインフラ長寿命化研究会 ⑥日本技術士会東北本部福島県支部 ⑦福島県土木施工管理技士会 ⑧ふくしま市町村支援機構 ⑨県・市町村 ⑩( ) ※該当する番号に○を一つのみ付すこと。その他の場合は、具体名を記すこと。		
最終学歴	年月	学校・学部・学科	
	S(H)●●年●●月	○○大学 ◆◆学部 △△科	
土木に関する職歴	年月	所属	
	S(H)●●年●●月	(株)○○○○建設 採用	
	S(H)●●年●●月	(株)○○○○建設 ○○課	
	S(H)●●年●●月	(株)○○○○建設 ○○課 主任	
	S(H)●●年●●月	(株)○○○○建設 ○○課 課長	
受講を希望するMEコース	①防災コース ②保全コース ※いずれかに○を付してください		
要項4.(3)④で証する保有資格	年月	名称(登録番号等)	
	S(H)●●年●●月	RCCM(土質及び基礎)(登録番号 No.00000)	
土関係する公的資格	年月	名称(登録番号等)	
	●●月	一級土木施工管理技士(登録番号 No.00000)	
	●●月	測量士(登録番号 No.00000)	
土関係する公的資格	「ふくしまME(基礎)必修講義」の受講修了後に受講を予定しているMEコースについて該当するものに○		
S・H	要項4.(ウ)④で証する資格を1つだけ記入すること。記載以外の資格については、「土木に関する公的資格」の欄に記入すること。		
S・H			

写真を貼る  
H:4.5cm  
W:3.5cm  
※顔写真  
※裏面に氏名を記入し、全面糊付けのこと

※主なものを記入  
記入欄が不足する場合は、行を追加して記入のこと。

※現在の所属

※平成30年4月1日現在の延べ勤務年数を記入のこと。なお、端数切り捨てのこと。

(様式2)

記入例

ここには何も記入しないこと

「ふくしまME(基礎)必修講義」

— 実務経歴書 —

受講申込者氏名

◆ 土木に関する主要な実務経歴書 (官公庁土木技術者等の経験証明用) ◆

所属	職名 (担当)	関係実務	勤務期間	
〇〇建設事務所〇〇部〇〇課	技師 (設計・管理担当)	監督業務	H〇.〇~H〇.〇	1年6ヵ月
土木部〇△課	副主査 (管理担当)	河川維持管理業務	H〇.〇~H〇.〇	1年
土木部◆◆課	主査 (管理担当)	道路維持管理業務	H〇.〇~H〇.〇	1年
<p>※ 重複期間を除いた合計3年以上の実務経歴を記入すること。            現職場のみでは実務経歴が3年以上とにならない場合には、            従前の実務経歴を加えて記載すること。</p>				
<p>※自分より上位の管理職の役職名・氏名を記入し、押印する。</p>			<p>※計 3 年 6 ヵ月</p>	

す。平成 00年 00月 00日

役職名 ○ △ 課 長

氏 名 ○ ○ ○ ○ 印

(様式3)

記入例

ここには何も記入しないこと

「ふくしまME(基礎)必修講義」

— 実務経歴書 —

受講申込者氏名

土木に関する主要な実務経歴書 (民間建設関連業土木技術者の経験証明用)

業務名	受注者名	関係実務	発注者名	勤務期間	
平成〇年度 ○道路△法面施工業	(株)〇〇建設	施工管理・現場代理人	〇建設事務所	H〇.〇~H〇.〇	8ヵ月
平成◆年度 ○橋桁補修業務	(株)〇〇建設	維持施工管理・現場代理人	△建設事務所	H〇.〇~H〇.〇	1年6ヵ月
平成△年度 ○道路◆舗装業務	(株)〇〇建設	施工管理・現場代理人	◆市役所	H〇.〇~H〇.〇	1年6ヵ月
<p>※ 現所属企業における重複期間を除いた合計3年以上の実務経歴を記入すること。</p> <p>なお、受講資格を満たすため旧所属企業分の実務経歴書も併せて提出する必要がある場合は、この(様式3)を用いて旧所属企業における実務経歴書を作成し、旧所属企業の会社名、代表者名を記入し、旧所属企業の代表者印が押印された実務経歴書を提出すること。</p>					
<p>※ 現所属企業の会社名、代表者名を記入し、代表者印を押印する。</p>				<p>※計 3 年 8 ヵ月</p>	

上記のとおり相違ないことを証明します。平成 00年 00月 00日

会 社 名 (株)〇〇建設

代表者名 ○ ○ ○ ○ 印

※勤務期間のうち、重複期間は合計に含みませんのでご注意ください。